

2019年度 岩田小学校だより 7月号(7月1日発行)

～ふるさとに誇りをもち、自信をもって活躍できる岩田っ子の育成～



せんだん

■ 「ふるさと」を考える！

『「ふるさと」って何だろう』私は、その土地の自然であり、お祭りや踊り・歌を含めた歴史や文化であり、そして何より「人」そのものであると思っています。ふと思いつく幼きころの風景には、家族や友、地域の方や先生が浮かび、なんとも言えぬぬくもりを感じるものではないでしょうか。5月～6月にも、そうした「ふるさと」を感じ、子ども達自身がその心に「ふるさと」を育む機会をたくさんいただきました。



<田植え & どろんこ会>



「育遊会」(会長：熊野庄悟さん)のみなさんのお世話で、5月28日(火)には5年生が「田植え」を、6月21日(金)には5・6年生が「どろんこ会」を行いました。



「田植え」では、はじめ足裏に感じる土の感触に戸惑っていた子ども達も、教えていただきながらだんだんと上達し、共同で行う手植えの苦勞と楽しさを体と心で味わっていました。見事1時間で植え終えた子ども達！充実感に満ちた表情で汗(泥?)をぬぐっていたのが印象的でした。「どろんこ会」は、その稲が風にゆれるさわやかな好天の中で実施。泥まみれになって子どもも大人も大いに楽しみました。特に綱引きは大好評で、悲鳴か歓声か分からないような高らかな声が田園にこだま



し、あたりは笑顔であふれていました。「子ども達は、友や先生・地域の方と大声で笑い合った今日の風景を決して忘れない」そう思いました。子ども達は「ふるさと」を体験し心に育んだにちがいありません。学校もまた「ふるさと」そのもの。私達教職員も責任とやりがいをもって努めてまいりますのでこれからも皆様のご協力をお願いいたします。



大人チームも綱引きに参加！



